学校番号	１０１２

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	基礎プログラミング	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

パソコンを使い学習する時間もありますので､パソコンＩＤとパスワードも忘れないようにしてください。
現代のビジネス活動においてかかすことのできない「コンピュータ」
ほとんどの企業がコンピュータを使い、ビジネス活動において生じた情報を整理･保存されています。コンピュータに指示する手順を伝える「プログラミング」をまなび、社会に出たときビジネス活動の合理化、省力化をはかれる社会人になれるよう頑張りましょう。

２　学習の到達目標

１　コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて理解できる。
２　プログラミングに関する知識と技術を習得する。
３　体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を身につける。
４　ビジネスの諸活動において､情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングに関する基礎的･基本的な技術を身に付け､ビジネスの諸活動によって生じた情報の活用を目的としてコンピュータの活用を合理的に計画し､その技術を適切に活用している。	ビジネスの諸活動によって生じた情報を主体的に活用することを目指して、プログラムを利用してデータを加工するための思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングについて関心をもち、ビジネスの諸活動によって生じた情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、プログラムを活用しデータを合理的に処理し、コンピュータを効果的に活用する実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1 コンピュータとプログラミング	(1)ビジネスと情報処理システム ・情報とコンピュータ ・ビジネスとコンピュータ ・情報処理システム ・システムの利用例 ・ユビキタスネットワーク社会	a: ビジネスの諸活動における情報や処理システムの意義に関する資料を収集し、得られた情報のもつ意味を読み取り、整理している。 b: ビジネスの諸活動における情報活用の重要性について様々な角度から思考を深め、合理的な情報処理システムを適切に判断し、導き出した考えを表現している。 c: ビジネスの諸活動と情報処理システムの関わりについて関心を持ち、データ処理の仕組みや役割の重要性についての学習に自らすすんで取り組もうとしている。	小テスト 実技テスト	実技テスト 宿題提出 授業へ取り組む姿勢	授業課題の提出 宿題の提出 授業に取り組む姿勢

2学期	プログラム基礎	(1)プログラミングの手順 (2)データの入出力と演算 (3)アルゴリズムの表現技法 (4)条件判定とくりかえし処理 (5)オブジェクト指向の考え方	a: プログラミングに必要な基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、必要なハードウェア・ソフトウェアの操作を行うことができる。データの入出力と演算、判定と制御構造等の各技法について、一連の手順に沿ってプログラミングを行う技術を身に付け、コンピュータの活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: ビジネスの諸活動を支えるプログラミング言語の重要性について自ら思考を深め、一連のプログラミング手順についての基礎的・基本的な知識と技術を基に、各技法について適切に判断し、表現している。 c: プログラミング言語について関心を持ち、Ｊａｖａ言語の特徴について自らすすんで調べようとする。データ処理に必要な一連のプログラミング手順について関心を持ち、その基礎的な技法の学習に自らすすんで取り組もうとする。データの入出力と演算、判定と制御構造等の各技法について関心を持ち、一連の手順に沿ってプログラミングを行おうとする。	小テスト 実技テスト	実技テスト 宿題提出 授業へ取り組む姿勢	授業課題の提出 宿題の提出 授業に取り組む姿勢

3学期	プログラミング応用	(1)メソッドの利用 (2)配列の利用 (3)例外処理とストリーム	a: メソッドの利用、配列、エラー処理などに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、コンピュータの活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: メソッドを利用する意義、配列の有用性、適切なエラー処理などについて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、コンピュータを合理的に活用することについて適切に判断し、導き出した考えを表現している。 c: メソッドを利用する意義、配列の有用性について関心を持ち、業務に適応する配列の作成や利用方法について探究しようとしている。プログラムの実行中にエラーが発生した場合を想定し、適切な処理を行うための技法について探究しようとしている。	小テスト 実技テスト	実技テスト 宿題提出 授業へ取り組む姿勢	授業課題の提出 宿題の提出 授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度